

事業計画書

■当初 □最終

法人名 合同会社 泰
代表者職名前 代表社員 東岡 誠
担当者名 連絡先

作成年月日 2022年08月22日

1 協議事項
事業種別 児童発達支援事業
児童発達支援事業
放課後等デイサービス事業
事業所名 音楽療型 多機能事業所
美かなで
開設(変更) 予定日 2023年 1月 1日

協議の種類
計画の概要
新規事業所の開設
事業の追加
定員の変更
大幅な事業内容の変更
事業所の移転
建物の構造・設備の変更

2 事業実施に係る動機
別紙参照

3 提供サービス
種別 ①放課後等デイサービス
②児童発達支援事業所
③
理念 「子ども自身が自分たちの未来を創造できる」
子どもたちに多くの体験を提供することで自己肯定感を高め、自身の将来をどのような形でも想像できるような支援を行い、将来の暮らしを身に着けられるよう支援を行う。
目標 ・多くの体験を提供することで、自己肯定感を高め、
・将来の自分の夢をどのような形でも考えられ、叶える方法を共に考える。
・社会に出た際に支援を受けながらも自身の考えを口に出し実現できる力を身に着ける。
同種のサービス なし

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】
土地 所在地 福山市熊野町1181-1
建物 用途 社屋
事業の概要 ① 児童発達支援・放課後等デイサービス
②
③
内容 申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □移転 □その他
物件を賃貸契約し、こちらの建物にて児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業を併設した多機能事業所を提供いたします。

5 主要取引先
上段:取引先
下段:所在地
割合
掛取引
回収・支払の条件
意見

6 従業員
職種 雇用形態 名前 年齢 月給 意見
管理者
児童発達支援管理責任者
公認心理士
児童指導員
保育士
保育士ハート
保育士ハート
保育士
指導員(無資格)

様式第2号-1
受理 8月22日
関係者への意見聴取
回答 11月21日

7 借入金の状況
金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見
●●●(申請中) 改築費用・設備備品購入・運営費用 1000万円 101万円

8 必要な資金と調達方法
必要な資金 金額 調達方法 金額 意見
土地
建物
設備
資本金
その他
運転資金

9 事業の見通し
1月目 2月目 3月目 1年後 意見
利用者見込 A
月平均利用額 ※1
収入計 ①
支出計 ②
収入 B
売上高 ※3
支出 C
最賃確保状況(A型)

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠
基本報酬(サービス費) + 全ての加算について記載すること
(数字I) 月604単位(区分1)+123単位(児童指導員等加算加算)+108単位(送迎加算)=835単位 835単位×(8.4%超過1)+1.0%(特定E))=913単位

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先
下段:所在地
1月当たりの受注額
契約書の有無
回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)
生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等



事業計画書

□当初 ■最終

法人名 合同会社 奏
代表者職名前 代表社員 東岡 誠
担当者名 連絡先

作成年月日 2022年08月22日

1 協議事項
事業種別 児童発達支援事業
児童発達支援事業
放課後等デイサービス事業
事業所名 音楽療法型 多機能事業所
奏 かなで
開設(変更) 予定日 2023年 1月 1日

協議の種類
計画の概要
新規事業所の開設
事業の追加
定員の変更
大幅な事業内容の変更
事業所の移転
建物の構造・設備の変更

2 事業実施に係る動機
別紙参照

3 提供サービス
種別 ①放課後等デイサービス
②児童発達支援事業所
③
理念 「子ども自身が自分たちの未来を創造できる」
子どもたちに多くの体験を提供することで自己肯定感を高め、自身の将来をどのような形でも想像できるような支援を行い、将来の暮らしを身に着けられるよう支援を行う。
目標 ・多くの体験を提供することで、自己肯定感を高めていく。
・将来の自分の夢をどのような形でも考えられ、叶える方法を共に考える。
・社会に出た際に支援を受けながらも自身の考えを口に出し実現できる力を身に着ける。
同種のサービス なし

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】
土地 所在地 福山市熊野町1181-1
用途区域 市街化調整区域
主要な修正点
建物 所有者
用途 社屋
階層 2階
地上 2階
地下
建築面積 96.98
事業の概要
① 種別 児童発達支援・放課後等デイサービス
手続 新規
使用する階 1階
専有面積 96.98
収容人員 18人
内訳 職員 8人
利用者 10人
② 種別
手続
使用する階
専有面積
収容人員
人
内訳 職員
人
利用者
人
③ 種別
手続
使用する階
専有面積
収容人員
人
内訳 職員
人
利用者
人
内容
申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □移転 □その他
物件を賃貸契約し、こちらの建物にて児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業を併設した多機能事業所を提供いたします。

5 主要取引先
上段:取引先
下段:所在地
割合
掛取引
回収・支払の条件
意見

6 従業員
職種 雇用形態 名前 年齢 月給 主な修正点
管理者
児童発達支援管理責任者
心理担当職員
児童指導員
児童指導員
保育士ハート
保育士ハート
指導員(無資格)
指導員(無資格)

7 借入金の状況
金融機関 理由 借入残高 年間返済額 主な修正点
改築費用・設備備品購入・運営費用

8 必要な資金と調達方法
必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地
建物
設備
資本金
その他
運転資金

9 事業の見通し
1月目 2月目 3月目 1年後 主な修正点
利用者見込 A
月平均利用額 ※1
(1人当たり)
収入計 ①
人件費
旅費・交通費
支賃借料
出賃借料
諸経費 ※4
支払元金利息
支出計 ②
収入 B
売上高 ※3
支出 C
利用者賃金
必要経費
最賃確保状況(A型)

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠
基本報酬(サービス費)÷全ての加算について記載すること
(数字I)平日604単位(区分I)123単位(児童指導員等加算)108単位(送迎加算)=835単位×(8.4%超過I)+1.0%(特定II)=913単位
(数字II)平日721単位+123単位(児童指導員等加算)+108単位(送迎加算)=952単位×(8.4%超過II)+1.0%(特定II)=1041単位
(児童発達)955単位(基本単価)+123(児童指導員等加算)+108単位(送迎加算)=1166単位×(8.4%超過I+1.0%(特定II))=1221単位

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先
下段:所在地
1月当たりの受注額
契約書の有無
回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)
生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品,光熱水費,車両管理費,研修費,宣伝広告費,租税公課,社会保険料,レンタル料等

様式第2号-2

受付印
受付印省略

10 付近図

小学校区 <input type="text" value="熊野小学校"/> 人口 <input type="text" value="2,284"/> 人 事業所数 <input type="text" value="0"/> 事業所 利用定員 <input type="text" value=""/> 人	主な修正点
付近図掲載せず	
凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先	

11 平面図

※別紙参照	主な修正点 ・児童発達支援事業所の利用定員を2名としている理由も、放課後等デイサービスと時間が重なった際に、職員が児童発達支援の児童にマンツーマンで付けるためです。パーテーションでの区切りと職員のマンツーマンで対応していきますが、状況に応じては、随時対応をしていきます。
-------	--

12 事業計画

開所日 月～土曜日 休業日 日曜日・祝日・年末年始・お盆 営業時間 平日 8:30 ～ 18:30 土曜日および学校休業日 8:00 ～ 17:30 サービス提供時間 【児童発達支援】 9:30 ～ 12:00(月～土曜日) 【放課後等デイサービス】 14:00 ～ 17:30(通常日) 9:00 ～ 16:00(土曜日および学校休業日) 利用定員 【児童発達支援】2名 【放課後等デイサービス】8名 対象年齢 【児童発達支援】、未就学児 【放課後等デイサービス】小学生 ～ 高校生(主な対象は小学生となります) 送迎サービス あり(送迎エリアは要相談)	主な修正点 ・園芸など様々な活動を提供できるように準備しておりますが、音楽療法を主とする療育と考えておりますので差別化も考えて名前に付けています。 ・単独通園を基本と考えています。対象年齢は3歳(年少)～6歳(年長)と考えています。 ・対象とする児童の定めはありません。また、4月には職員2名の入職が決まっており、児発は1:1、放デイは児童2名に対し職員1名以上で配置し様々な児童に対応できるように考慮していきます。
---	---

13 利用者処遇

別紙参照	主な修正点 ・音楽療法士は2名・中学校の音楽教諭1名配置しています。音楽療法は、療法士2名をもち、児童に楽器に触れてもらい楽器を利用しての療育を基本と考えています。 ・1日全体の療育プログラムを作成し、音楽療法の時間は30分程度とし、音楽療法士以外の職員は別の活動希望児童につき、屋外活動や訓練指導室で対応します。上記の対応ができるように、無資格職員もフォローとして2名配置しています。
------	---

14 防災計画

・年3回の防災教育・避難訓練の実施(6月・10月・3月) ・火災想定、地震想定での防災避難訓練の実施 ・緊急連絡網の作成(保護者・職員) ・避難確保資材の準備 ・備蓄品の準備 ・避難場所の確認 熊野小学校までの経路の確認 熊野小学校までの距離:140m 移動時間:徒歩2分、車で1分	主な修正点
---	-------

15 一日の流れ 別紙参照

[ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ] [ ] 時 [ ] 分 ～ [ ] 時 [ ] 分 [ ]	主な修正点
---	-------